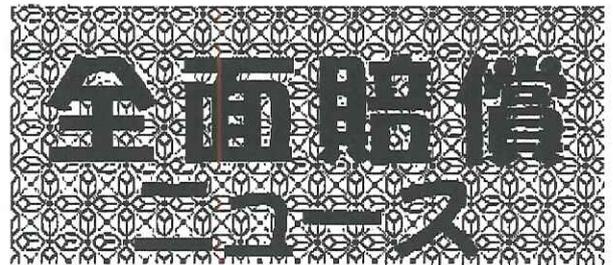


(1)

第4号 2012年10月24日(水) 発行

相馬新地・原発事故の全面賠償をさせる会

事務局 〒979-2542 相馬市成田字五郎右エ門橋373
村松孝一方 電35-2797 FAX 35-2903

東電 「農業被害等の実害は賠償します」

東電の説明会開かれる

10月13日、東電は8人が来相。私たちを応援する藤原泰朗、馬奈木巖太郎、中瀬奈都子の3人の弁護士はが同席しました。

会員から預かっていた東電に対する請求書の内から前もってサンプル的に3人の請求書を東電に示し、賠償手続きと支払いの円滑化を求めて来ました。内訳は農業の被害2人、避難による被害1人の請求。これに対し東電は農業の実被害については支払いができると説明し具体的に当人と話し合いに入っているということでした。

その他については、東電は「検討中」と言葉濁すばかりでした。馬奈木弁護士から「検討しているなら、東電のどの部署でだれが責任者となってやっているのか明らかにせよ」と詰め寄られても説明できず立ち尽くしているばかりでした。



若いお母さんは、「子どもは外で遊ばず、あまりにもかわいそうだ。毎日が不安でたまらない。早く元に戻して!」と声を詰まらせながらの発言もありました。第2回説明会は11月17日に来るよう東電に要請しています。

説明不足に参加者怒る

「賠償させる会」会員や市民120人が参加し、被害を受けている人々は、切実な被害の実態を発言し、誠意ある回答を求めました。被害現地での住民交渉に東京電力が出席するのは、今回初めてで、マスコミも取材しま

した。「賠償させる会」は①自主避難した人への費用補償、②事故での生活費増加の補償、③精神的被害補償など6項目の要求を提出しています。

(二面に続く)

(2) 2012年10月24日(水) 賠償させる会ニュース

(一面から続く)

これに対し東電直井部長は「事故の重大さを痛感し深くお詫びする」としながらも、①②③では大人8万、子ども妊婦40万の定額賠償以上の回答はしませんでした。要求項目④住民の健康管理・医療整備、⑤被災者就労支援、原発完全脱却、⑥除染への東電の責任については

「回答しない」としました。

こうした誠意のない態度に、参加者は怒りを持って次々発言しましたが、東電は具体的に回答せず、その声を「持ち帰る」と述べたので、次回「賠償させる会」に回答することになりました。

●第2回東電の説明会

とき 11月17日(土) 14時から16時まで

ところ 相馬市コミュニティセンター

◇1回目以上の参加者で東電を圧倒し、しっかりした説明を引き出しましょう

●東京公害総行動 参加者募集

東京本社と国会に要請に行きましょう!

とき 11月20日(火)

ところ 東京東電本社と国会に行きます

交通 大型バス1台貸し切り 相馬6:00出発(予定)

参加費 一人5,000円

●賠償をさせる会総会

とき 12月2日(日) 14時(午後2時)から

ところ 相馬市コミュニティーセンター

◇これまでの会の総括と今後の運動の前進に向けて討議します。

全国公害被害者総行動とは?

全国各地の公害被害者団体などが手をたずさえてきた運動です。

1976年政府や財界の公害対策全面後退の攻撃に対し公害被害者が立ち上がりました。

それから38年間、政府や公害発生企業との交渉など被害者救済と公害根絶の運動に取り組んできました。

全国公害被害者総行動は国民のいのちと暮らし、自然を守る運動に発展しています。

原発事故も国と東電による公害です。総行動にはアスベスト被害、薬害イレッサ、イタイイタイ病、水俣病、スモン、カネミ油症、有明海、基地騒音公害、道路公害、大気汚染など多くの団体が参加します。「被害者は絶対に泣き寝入りしない」「勝つまでたたかう」との決意を固めあいましょう。

福島民報

2012年(平成24年)10月14日(日曜日)

152人分の賠償
東電に請求書
相馬新地の住民
東電電力福島第一原
発事故に伴う「相馬新
地・原発事故の全面賠
償をさせる会」の説明
会が13日、相馬市コ
ミュニティセンターで
開かれた。

賠償請求書を東電担当者に手渡した。事前に要求していた賠償の徹底管理・医療体制整備など大項目に対し、東電側から対応の説明を受けた。「検閲中」などとする回答があったため住民側は「個別不安の解消」「風評の払拭(はらいつま)」「健康被害を減らす」などの

福島民報

2012年(平成24年)

10月16日(火曜日)

「補償拡大は検討中」
相馬で東電が説明会
東電電力は13日、福島第一原発事故をめぐり相馬新地・原発事故の全面賠償をさせる会(相馬市民会)からの要請に対する説明会を相馬市コミュニティセンターで開いた。

同会が8月、自主避難者への賠償が不十分として、賠償の拡大を求める要請書を東電に提出した。関係者や市民など約100人が出席した。要請に対し、東電は「補償の拡大は検討中」と述べていると報じた。



賠償拡大の要請に備へ開かれた説明会